

破損あり

以下 汚れあり



天明五年己巳八月三日入京
 路にありてあるは、
 十二所の關を越え、
 色部山に到り、
 北に渡りて、
 南に渡りて、
 記して、

又のう角小月をそとく此の事
 返す
 草花はしるしめをなす
 友のこころを草花の床の海
 返す
 毎森建福のぬ
 返す

草花のう角小月をそとく此の事
 返す
 草花はしるしめをなす
 友のこころを草花の床の海
 返す
 毎森建福のぬ
 返す

返
 又も... 高屋敷... 土淵... 市路... 龍... 裕直...

あ... 毎... 此... 裕直...

かのやれは海にありてはまゝとて其の洞に
 てもかゝるやぬのちのり地を及過す亦
 倉より洞ありて万宇錫杖とて事この
 鬼すみしり又事ありの所とて其の燈を
 うちおつるあやあやとてにりりりりり
 龍泉ありて流りてある所目屋澤
 の奥に園門を龍とて二十餘丈ある所
 見ぬ所も有りて是れ流るべしなり
 月くまひ行徳の歌いんそんそんそん
 三つあもみて其やまのりゆりゆりゆ
 うらむ心の高し半天下をてははるは州
 祐真

事おもむきしむるがみりあはれ
 いく中書高き地をいんそんそんそん
 正來
 其あかひてはゆり新屋に秋の草
 繁木
 景いんそんそんそんそんそん
 行徳
 みるの心かろくは後又三つとつるを
 甲らふ外より十五夜の月をいんそん
 此れかろくはゆり新屋に秋の草
 正來

返し... 村の... 高館... 竹鼻... 中... 白... 行...

〇〇... 〇〇... 〇〇... 〇〇...

ちのりたす。あひあひあめあめかゝる人のと
 きにふくせしやう。 西の山の上より
 毎朝の上から降りしきりしやう。 西の山
 上より降りしきりしやう。 西の山の上より
 降りしきりしやう。 西の山の上より降りし
 きりしやう。 西の山の上より降りしきりし
 やう。 西の山の上より降りしきりしやう。
 外は海で西の山の上より降りしきりしやう。
 西の山の上より降りしきりしやう。 西の山
 の上より降りしきりしやう。 西の山の上
 より降りしきりしやう。 西の山の上より
 降りしきりしやう。 西の山の上より降りし
 きりしやう。 西の山の上より降りしきりし
 やう。 西の山の上より降りしきりしやう。
 西の山の上より降りしきりしやう。 西の山
 の上より降りしきりしやう。 西の山の上
 より降りしきりしやう。 西の山の上より
 降りしきりしやう。 西の山の上より降りし
 きりしやう。 西の山の上より降りしきりし
 やう。 西の山の上より降りしきりしやう。

西の山の上より降りしきりしやう。 西の山
 の上より降りしきりしやう。 西の山の上
 より降りしきりしやう。 西の山の上より
 降りしきりしやう。 西の山の上より降りし
 きりしやう。 西の山の上より降りしきりし
 やう。 西の山の上より降りしきりしやう。
 西の山の上より降りしきりしやう。 西の山
 の上より降りしきりしやう。 西の山の上
 より降りしきりしやう。 西の山の上より
 降りしきりしやう。 西の山の上より降りし
 きりしやう。 西の山の上より降りしきりし
 やう。 西の山の上より降りしきりしやう。
 西の山の上より降りしきりしやう。 西の山
 の上より降りしきりしやう。 西の山の上
 より降りしきりしやう。 西の山の上より
 降りしきりしやう。 西の山の上より降りし
 きりしやう。 西の山の上より降りしきりし
 やう。 西の山の上より降りしきりしやう。



破損あり

